

会 話 懇 天 原

1. 会の趣旨

- 1) 会員に懇談の場を提供する.
- 2) 自主, 自由, 闊達 の精神を重んずる.
- 3) 原子力平和利用の健全な発展に貢献する.

2. 会員の資格

- 1) 原子力関連事業に従事した, あるいは従事している人
- 2) 年令 60才を越した人

3. 会の運営

- 1) 会長 1名, 世話人 1名を任命する
- 2) 会費は 月 2万円とする.

4. 事務所

- 1) 事務所は交通の利便の地に設ける.
- 2) 事務所には下記の備品を設ける.
事務机 1脚, 会議机 1台, 応接セット 1セット, 電話機(1)(Fax付)
コピー機(1), 湯茶セット, 室内娯楽 (碁・将棋等)

1988年2月27日書き初め

①名称 ○○○○日本クラブ

②趣旨など

A 価値観あるいは目標あるいは動機（過去におけるこれらのものが果して裏づけのあるものだったか錯覚だったか、大いに疑問とするが、それは別として）を見失いまたそれ故に将来への道筋の構想をもちえないでいる社会、国（日本）、世界について、何らかの方法でまたはある程度考えたいと思っている人は多いにちがいない。

B しかし組織にいる間は、時間の制約や考えるとしても仕事上の必要に限られることになる。（原子力開発に初期から関係してきた人の中には、社会や国や世界の将来のあるべき方向にできるだけ合致するよう努力してきた人が少なくないだけに、このような思いをもつ方も多いにちがいない）。

C 上記のようなことに対応して教養講座や○○懇話会やカルチャー・センタなどが氾濫していることは、その現れであろうが、資格取得等の目的の場合を除き、このようなものの効用は限られている。

D 人は組織から離れた時、上記のようなことを考えたいと思い、あとの人が考えるために役立てたいと思って自分の経験を書き残し、あるいは若い人に諫言したり今の風潮に悲憤こう慨したりする。しかし、独りで読書検索しときには講演会などに出掛けるとしても、得られる情報は限られ、何よりも大切な膚で感じとること、コミュニケーションで得られる情報はきわめて少なくなる。（このことが人を老いさせる最大の要因にもなりうるのではなかろうか）

E 一方、定年などで組織をはなれてみて最も困ることは、まず毎日をどう過ごすかであるといわれている。趣味や勉強ではっきりした目標を持っている人でも、体力維持や規則正しい生活を自らの意志で続ける事はよほど精神力の強い人でも容易ではなく家族の生活との調和など、たいへんな努力を要するであろう。人は所詮、組織などによる外部からの枠組なくしては己れを持するは至難の業。例えばお金を稼がねばならない、ということも一つの枠組、そういう条件下にある人は幸せ、ともいえるかもしれない。近頃お金は何とかなる（年金などで）仕事がしたいという人にしばしば出会う。「衣食足りて惑う」というのが、7割が中流意識の日本人の平均像といえる現代において、戦中戦後を国のため家族のため社会のためと、必死に真剣に生き抜いてきた、今定年を迎える世代に取って、この事態はたいへん深刻なことにちがいない。

F このような状況の中で行われていること、それは窓際や子会社への移転、天下り、顧問・相談役への就任等々、収入や対面の維持の意味はあっても、多くの場合それ以上のものではないように思われる。もちろんそのような扱いを受ける人は幸せに違いないが、それで果してあと20年もあるその人の人生の可能性を引き出すことができるか、その人に真の生き甲斐を感じさせているだろうか。第一そのような位置にいる人に対しては真剣な期待はかけられている場合は少ないし、直言してくれる人もあまりなく、多くは敬して遠ざけられているというのが実態ではなかろうか。

G 人は元来、その行動の枠組にコミットし（自分が選んだという）責任や同感を持つ度合いが強いほど、生き生きと能力を発揮する。自分が属する枠組や組織に負い目や優越感を持つとき、行動や努力には無意識に限界と歪みが含まれる。動物とちがひ人間は折角その枠組（環境）を選ぶ能力をあたえられているというのに・・・。

以上のような問題の指摘は、私も含め決して他人事ではないと思いながら書いたことであるが、その中には生と死の問題をはじめ人生の基本問題の多くを包含している。これに真にチャレンジしようとするならば、一つの宗教や主義を興こすほどの大事業になるのであるが、私がいま提案しようとしていることは、そんなおおそれた事ではなく、（参加する人が）上記のような事について何かのきっかけや緩和やヒントをうる場を創つたらいかがであらうか、ということである。

それをいささか風変わりなアプローチで着手しようというのが、この提案であるが、「着手」だけで終わっても十分意味があると考え、その結果、従来全くなかった質の新し

い集団（最低限の共通性をもつ人の集まりという意味で「集合」というべきか）が生まれれば、そこから何かが芽づくかもしれないと思っている。

RE: 1月23日原天会

TO: 森 様

博田さんからメール転送致します

From: 津田

Subject: RE: 1月23日原天会

From: "tadakuni hakata" <tadakuni.hakata@nifty.com>

Date: Sun, 24 Jan 2010 19:55:03 +0900

To: '津田敦子' <uen@luck.ocn.ne.jp>

CC: '島崎 芳昭 様 原天会' <smzk.tokyo@ybb.ne.jp>, '¥'島崎 芳昭 様 (原天会)¥' <yosniaki.shimazaki@mnec.mhl.go.jp>

津田様、

森さんが出てこられたら、下記のメモと、添付資料の改訂原天会運営要領と21年の会計報告をを渡して下さい。

1月23日の原天会

11名が参加し、11時から15分位、改訂運営要領案を討議してもらい、了承を得ました。

参加予定で参加しなかった場合の当日会費の寄付については、高年配者は止むを得ないと考え

今回は含めませんでしたが、それ以外は森さんのご希望通りにしていますので、ご了承ください。

本日は11人の参加でしたが、新要領で3局対局の原天会を終えました。

岩越さんと中野さんが3勝0敗で当日賞を取りました。

3局は少し寂しいとの感想もありましたが、4局はきつい、

3局でゆっくりして良かったとの意見もありました。

不戦勝を勝ちとしましたので、2勝で優勝、1勝1敗で賞金となるので、少々運の良い人がでるなと感じました。

中野さんが不戦勝は良いなと云っておられましたが、不戦勝を入れて3勝で同位優勝でした。

3勝者と2勝1+不戦勝者が並んだ時は3勝者を上位とするのはどうですか

次回の3月第4土曜には出てきて下さい。ご自愛のほどお願いいたします。

博田忠邦